

日刊 労働千葉

87. 5. 8
No. 2544

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

還奪、伊藤、多田、西本「本部」労働士屋一派一掃へ

銚子支部第七回定期大会開催5/2

銚子支部第七回定期大会は五月二日、銚子市内で開催された。大会には勤務以外の組合員四十数名が出席し、西本、多田、伊藤の三君を職場に奪還するとともに、労働カクマルの手先、コロビ屋・土屋粹一派を一掃するため、全力でたたかいかいぬく方針を満場一致で決定した。

明るい職場をつくる

— 西本支部長 —

大会は十八時、早船書記長の「激動の中をみんなで頑張ってきた。今日の大会開催によって勝利を確認できる」との開会挨拶で始まった。

議長に鈴木貴雅君を選出し、挨拶に立った西本支部長は「当局の組合つぶしの姿勢は今後より一層強まるだろう。しかし、職場が明るく、みんなの心が固く結びついていればどんな攻撃もはね返せる。楽しく仕事ができる職場をつくるため、一步一步前進しよう」と訴えた。

つづいて本部布施書記長から、「新会社」移行後の情勢と、当面する方針が提起され、最後に「今日の大会をもって支部の組織体制をより強固に確立し、当局・労働革マルの攻撃をはね返そう」と結んだ。

タレ込み分子を

一掃しよう

— 闘う方針確立 —

執行部から、経過、決算、運動方針案、予算案の提起を受けた。

とりわけ、銚子運転区には労働革マルの手先、土屋粹とその一派が存在し、本社や千葉運行部、マスコミにすぐタレ込むなど、銚子支部組合員の足を引

つ張ることは勿論のこと、首切りのスキを狙っているが、大会は、こうした鉄道労連解体を第一の重要課題とした。そして第二に、第二波ストで不当解雇された西本支部長、清算事業団へ送られた多田副支部長、伊藤執行委員の奪還、第三に、物資販売、共同購入、上映運動の取り組み、第四に、新会社での労働条件の確立、第五に、支部家族会を強化にむけ、全力で闘う運動方針案を満場一致で決定した。

新役員を選出

大会は新役員を選出し、全員が決意表明を行った。

西本支部長からバトンタッチした錦織新支部長は、「日本労働運動を変え、闘いを担ってきた前執行部に負けないよう頑張る」と決意表明し、全員の拍手で確認され、最後に団結ガンパロをもつて大成功のうちに大会を終了した。

新執行体制

支部長	錦織芳雄
副	西本泰通
書記長	越川幸夫
執行委員	鈴木貴雅、山口喜一郎、郡雅巳、川越一夫
特執	伊藤隆